

平成21年度社会実験実施箇所

箇所名：広島県廿日市市
実験名称：(仮)観光地「世界遺産宮島」の玄関口の渋滞対策社会実験
実施主体名：(仮)観光地「世界遺産宮島」の玄関口の渋滞対策社会実験協議会

1. 地域の現状と課題

- ・宮島を訪れる車両が観光シーズンに集中するため、周辺道路が大渋滞し、問題が生じている。
 - ・地域住民や通過車両の生活に支障をきたしている。
 - ・世界遺産宮島を訪れる観光客へ悪印象を与える。
- ・高速道路1,000円サービスの実施により入り込み客が増加、渋滞に拍車がかかっている。

2. 実験内容

- ・主要交差点に誘導看板を設置し、駐車場待ち・うろつき車を空き駐車場へ誘導。
- ・混雑情報提供により、通過車両を高速道路に転換させる。
- ・JR宮島口駅から棧橋までの間を歩行者優先空間として検討。
- ・周辺の大規模駐車場を利用し、パーク&ライドを実施。

3. 位置図・実験概要等



■フェリー乗り場付近の状況



■宮島口の渋滞状況

